

## D X の 取 組

当社では、地域の情報産業の担い手として、データと情報技術を活用し、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、市場における競争上の優位性を確立するため、2022年2月に「DX戦略」を策定しました。

同年6月には経済産業省の「DX認定事業者」に認定されています。

これまでの取組としては、DX人材育成のための社員教育やDX関連資格取得への支援、受注業務の効率化のための調査研究をそれぞれ行いました。今般、これらの経過を踏まえて、DX戦略を改定し、次の計画に基づき取組を進めていきます。

### 1. 基本方針

#### (1) 業務の効率化

#### (2) ビジネスモデルの変革

- ・データに着目し、業務を根本から作り直す。  
(研究開発、生産、営業、人事、経理、既存システムなど)
- ・あるべき論で組織、事業全般を見直し再構築すること。
- ・個別最適を回避し、全体最適となるよう、複雑化、ブラックボックス化をしないこと。

### 2. 推進計画

#### (1) 社内DX

##### ①DX人材の育成

- ・デジタルスキル標準策定
- ・DX関連資格取得

##### ②社内業務の効率化

- ・デジタル技術を活用した社内DXの実践

##### ③営業業務の変革

- ・提案書や見積書作成のAI化
- ・データ収集のAI化やRPA導入
- ・情報機器メンテナンスのAI化やRPA導入

#### (2) お客様DX

##### ①業務管理

- ・業務管理システムの提案
- ・アンケート業務の完全Web化提案

営業面の変革では、DXコンサル窓口の設置やDXサポート窓口を設置して、お客様からの相談を受け付け、お客様のDX実現を支援します。

### 3. 推進体制

取組の進捗状況の情報共有や計画更新を行うため、代表取締役社長を総括責任者とするDX推進連絡会を設置して進行管理を行う。

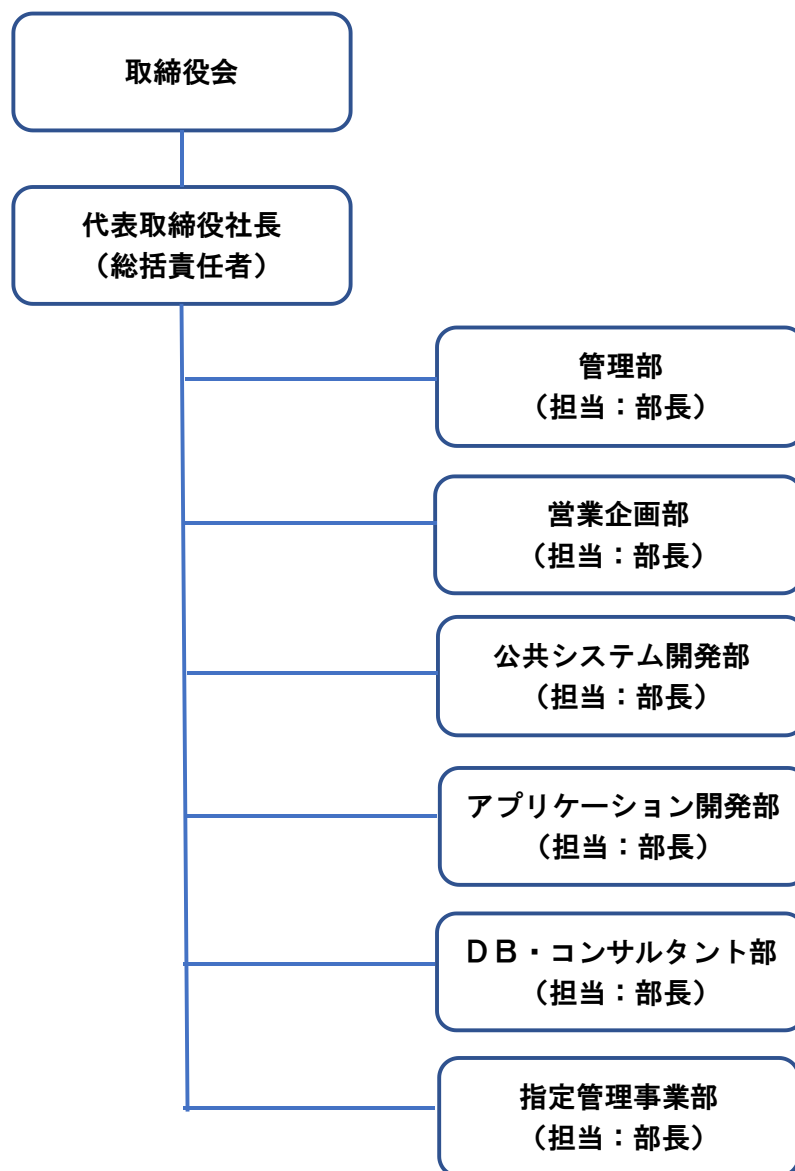
2023年5月25日  
株式会社東北情報センター  
代表取締役社長 土田 稔

## D X 推進体制

D X 戦略を推進するため、代表取締役社長を総括責任者とする「D X 推進連絡会」を設置し、戦略の進捗管理を行っていきます。

また、D X 推進を支える人材の育成・確保では、社員が外部研修機関の公開講座を活用し、D X 推進研修や高度デジタル技術者育成のための E 資格や D S 検定の講座を受講できる体制を整備しています。併せて、E 資格や D S 検定等の D X 関連資格の取得のため、資格取得支援制度を整備しています。

### < D X 推進連絡会 >



(2024 年 4 月 1 日付)

## 具体的な取組

デジタル化が加速するDX社会において、お客様からの期待に応えるIT企業として、次のような方策を取ります。

- ・システム開発手法を見直し、お客様の変化に対応可能な新システムを構築します。
- ・RPAによる業務の自動化やAIによる業務生産性向上を図り、お客様に提案可能な環境を整備します。
- ・お客様へのDX提案を推進するため、DXリテラシー向上を図る教育を行います。
- ・DX人材育成のための教育投資予算を確保します。

中期経営戦略として、DXの取組における具体的な取組の中から3件以上の取組を目標とします。